



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 元気寿司株式会社  
コード番号 9828 URL <http://www.genkisushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 法師人 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 齋藤 義範

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	25,697	6.9	687	△31.6	635	△38.0	310	△54.2
28年3月期第3四半期	24,027	9.5	1,005	△8.5	1,025	△12.4	676	△17.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 326百万円 (△51.1%) 28年3月期第3四半期 667百万円 (△24.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	35.14	—
28年3月期第3四半期	76.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	20,144	6,338	31.5
28年3月期	17,418	6,144	35.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,338百万円 28年3月期 6,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	3.00	—		
29年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,060	5.4	770	△44.8	630	△53.7	140	△83.2	15.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	8,882,908 株	28年3月期	8,882,908 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	54,152 株	28年3月期	54,077 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	8,828,798 株	28年3月期3Q	8,829,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策等の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しましたが、急激な為替変動や世界的な政治経済の不確実性の高まり等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の節約志向・低価格志向の高まりに加え、労働力不足を背景とした人件費の増加や原材料価格の上昇、業種を超えた競争の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で当社グループといたしましては、「回転寿司を超える寿司レストランの創造」の基本方針のもと、「品質向上とスピード提供」「溢れる笑顔と情熱」をキーワードに、他社との差別化を図り、より一層の顧客満足度向上に、全社一丸となり努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高256億9千7百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益6億8千7百万円（前年同期比31.6%減）、経常利益6億3千5百万円（前年同期比38.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億1千万円（前年同期比54.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (国内事業)

国内事業におきましては、店舗収益力とブランド力の向上のため、外食の基本であるQSCの強化に改めて取り組むとともに、各種営業政策を実施してまいりました。

仕入面につきましては、原材料の値上げが相次ぐ中、メニュー構成を見直す等、仕入価格の上昇の影響を最小限に抑えてまいりました。また、商品開発では寿司メニューの更なる充実と品質向上を図りつつ、女性向けメニューやサイドメニュー等の開発も積極的に行い、幅広いお客様のニーズに対応してまいりました。

店舗展開につきましては、オールオーダー型店舗「回転しない寿司」の出店及び改装に経営資源を集中し、この同型店舗数の拡大に引き続き注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新設店14店舗を出店し、不採算店2店舗を退店したことにより、総店舗数は145店舗となりました。また、改装等につきましては10店舗実施いたしました。

そのほか、新業態開発の取り組みとして、宇都宮市内において、既存店舗へ宅配機能を追加した実験を進めており、寿司の新たな販路の開拓に取り組んでおります。

この結果、国内事業の業績は、売上高214億4千万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益2億5千3百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

## (海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、国内最新店舗のシステムと技術を世界へ向けて発信するとともに派遣指導等を充実し、季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、子会社において米国1店舗、フランチャイズ先において中国8店舗、クウェート1店舗、インドネシア4店舗、フィリピン1店舗、カンボジア1店舗を出店し、また、子会社において米国2店舗、フランチャイズ先において香港2店舗、中国3店舗を退店したことにより、総店舗数は156店舗となりました。改装につきましては、子会社において米国3店舗を実施いたしました。

なお、平成28年11月21日の「Genki Sushi Singapore Pte.Ltd.の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、当社のフランチャイズ先であった同社株式の全部を取得し、平成28年12月19日付で同社を当社の連結子会社としております。当第3四半期連結会計期間末におきましては、平成28年12月31日をみなし取得日として、同社の貸借対照表のみを連結しております。

この結果、海外事業の業績は、売上高42億5千6百万円（前年同期比9.1%減）、セグメント利益4億8千7百万円（前年同期比39.7%減）となりました。なお、売上高は子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入等であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ27億2千5百万円増加し、201億4千4百万円となりました。負債合計は前連結会計年度末に比べ25億3千1百万円増加し、138億5百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億9千3百万円増加し、63億3千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は3.8ポイント下降し、31.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月28日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間において、Genki Sushi Singapore Pte.Ltd.の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,975,179	3,419,552
売掛金	433,424	489,121
商品及び製品	255,114	658,721
原材料及び貯蔵品	66,461	61,162
その他	585,672	652,391
貸倒引当金	△4,971	△5,631
流動資産合計	5,310,880	5,275,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,341,027	8,244,731
土地	728,824	728,824
リース資産	5,641,965	6,831,128
その他	1,249,277	1,743,669
減価償却累計額	△6,909,240	△7,711,593
有形固定資産合計	8,051,853	9,836,759
無形固定資産		
のれん	—	255,092
その他	219,210	229,318
無形固定資産合計	219,210	484,411
投資その他の資産		
差入保証金	2,566,121	3,188,316
その他	1,271,412	1,360,197
貸倒引当金	△826	△890
投資その他の資産合計	3,836,707	4,547,623
固定資産合計	12,107,771	14,868,794
資産合計	17,418,651	20,144,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,230,842	1,794,474
1年内返済予定の長期借入金	1,112,626	1,400,819
未払法人税等	343,000	99,000
賞与引当金	258,000	107,000
転貸損失引当金	—	8,391
資産除去債務	1,862	9,267
その他	2,529,372	2,881,141
流動負債合計	5,475,704	6,300,093
固定負債		
長期借入金	1,882,345	2,746,799
リース債務	3,151,400	4,023,120
転貸損失引当金	—	44,760
資産除去債務	470,426	514,048
その他	294,228	177,137
固定負債合計	5,798,400	7,505,865
負債合計	11,274,104	13,805,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	3,808,027	3,985,881
自己株式	△73,481	△73,640
株主資本合計	6,230,746	6,408,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△682	90
為替換算調整勘定	△85,516	△70,377
その他の包括利益累計額合計	△86,198	△70,287
純資産合計	6,144,547	6,338,153
負債純資産合計	17,418,651	20,144,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	24,027,399	25,697,167
売上原価	9,978,489	10,775,474
売上総利益	14,048,910	14,921,693
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,457,594	7,105,617
賞与引当金繰入額	110,000	107,000
その他	6,475,994	7,021,162
販売費及び一般管理費合計	13,043,589	14,233,779
営業利益	1,005,321	687,914
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,463	18,049
受取賃貸料	40,199	30,196
受取手数料	48,060	52,728
その他	22,222	6,346
営業外収益合計	127,945	107,320
営業外費用		
支払利息	90,636	83,242
賃貸費用	16,665	18,387
転貸損失引当金繰入額	—	52,320
その他	911	5,844
営業外費用合計	108,213	159,794
経常利益	1,025,052	635,440
特別利益		
投資有価証券売却益	15,358	—
賃貸借契約解約損戻入益	3,942	78,746
特別利益合計	19,300	78,746
特別損失		
固定資産除却損	26,896	14,014
減損損失	19,737	149,045
賃貸借契約解約損	22,628	20,740
特別損失合計	69,262	183,799
税金等調整前四半期純利益	975,091	530,386
法人税、住民税及び事業税	292,810	234,199
法人税等還付税額	△48,086	—
法人税等調整額	53,435	△14,098
法人税等合計	298,159	220,100
四半期純利益	676,931	310,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	676,931	310,286



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	676,931	310,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,681	772
為替換算調整勘定	△124	15,139
その他の包括利益合計	△9,806	15,911
四半期包括利益	667,124	326,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,124	326,197

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,346,536	4,680,863	24,027,399	—	24,027,399
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	19,346,536	4,680,863	24,027,399	—	24,027,399
セグメント利益	195,189	808,527	1,003,716	1,604	1,005,321

(注) 1. セグメント利益の調整額1,604千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,440,312	4,256,855	25,697,167	—	25,697,167
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	21,440,312	4,256,855	25,697,167	—	25,697,167
セグメント利益	253,729	487,545	741,275	△53,361	687,914

(注) 1. セグメント利益の調整額△53,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び退店予定の店舗等について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において149,045千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間よりGenki Sushi Singapore Pte.Ltd.の株式取得に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては255,092千円であります。